

第3期びわ地区地域福祉活動計画

2024年度▶▶▶2028年度

みんなで「わ」になって しあわせに暮らせるまちびわ



少子高齢化、人口減少が進むびわ地区では、コロナ禍も相まって活動の継続や活性化が難しくなり、担い手不足も深刻です。今後より一層、住民がつながり支えあって暮らしていくことが求められています。

そのために、心身ともに健康であることを基礎として、しょうがいの有無や年齢性別に関わらず、すべての人が地域福祉活動に参加できる地域を目指します。

この「健康」と「福祉」の観点を「しあわせ」という言葉に込め、「みんなでわになってしあわせに暮らせるまちびわ」を理念とし、計画を策定しました。

第3期びわ地区地域福祉活動計画策定委員会

PDECA サイクル

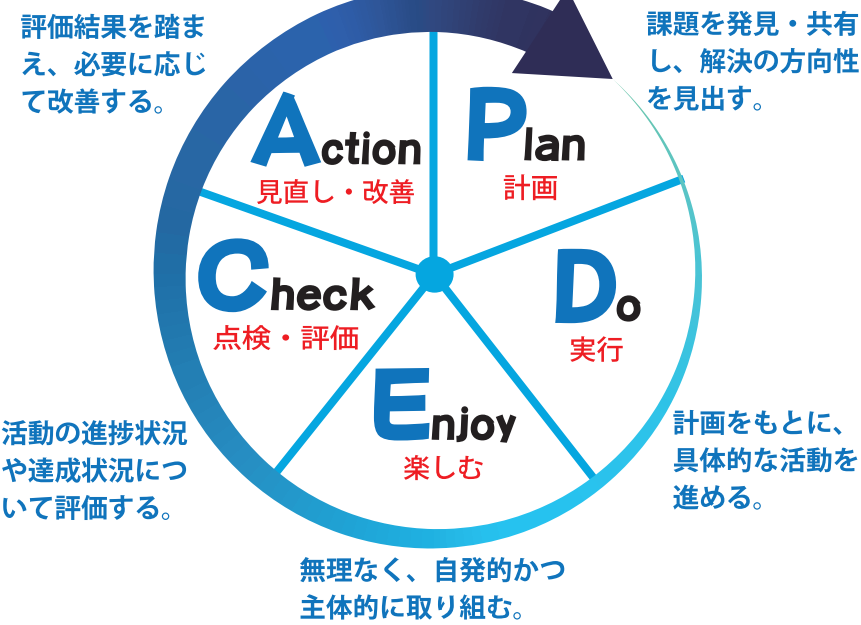
■計画の推進方法

常により良い活動や取り組みを推進するため、PDECA サイクルに沿って、計画の目標達成に向けた進捗管理に努めます。

■計画の推進体制

策定委員会参画組織を中心とし、びわ地区の各種団体にて協働して取り組みます。

年2回程度、計画の進捗状況について情報共有できる会議を開催します。



びわ地区 基本データ

2023年
4月1日現在

人口 6,329 人 男 3,041 人 女 3,288 人 / 世帯数 1,937

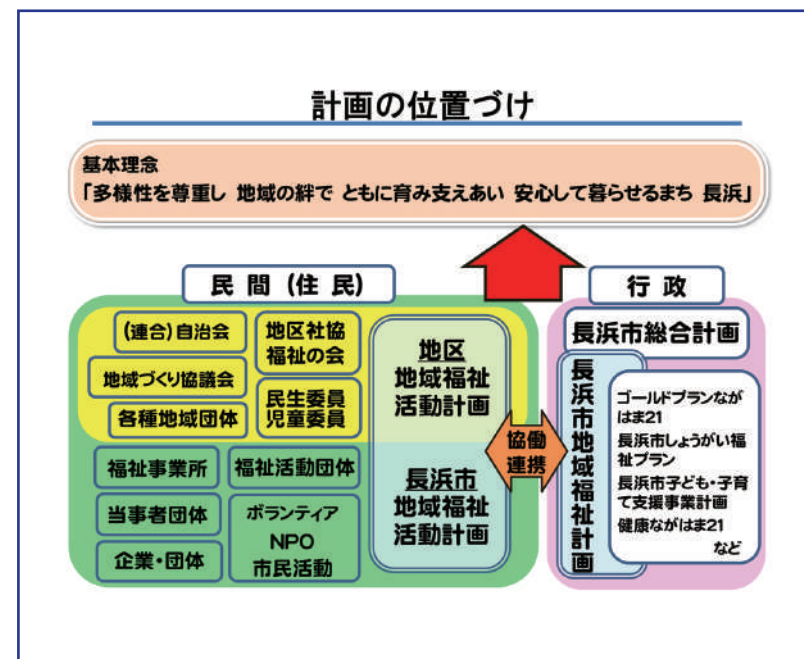
高齢化率
36.01%

★0～14才…674人
★15～64才…3,376人
★65才以上…2,279人

計画の位置づけ

「びわ地区地域福祉活動計画」は「住民参加」による活動・実践と行政や関係機関・団体との「協働」を図りながら、福祉課題の解決を目指し、「住民主体による福祉のまちづくり」を進める計画です。「長浜市地域福祉活動計画」と一体的に策定することで、市域、地区域のエリアによる活動メリットを最大限活かせる活動展開を計画します。

また、長浜市が策定する行政の地域福祉に対する施策計画である「長浜市地域福祉計画」と連携・協働し、公民協働による地域福祉を推進します。



お問い合わせ

第3期びわ地区地域福祉活動計画策定委員会

〒526-0108 長浜市難波町 483 (長浜市社会福祉協議会びわセンター) TEL: 0749-72-4399

参画と交流のわ

「みんなであわせになるため」の基礎となる活動として、人とつながることを目指します。

行動指針

- 住民相互の交流を促進します。
- 地域の人との交流を増やすために、イベント等への参加を促します。
- 地域に住むすべての人が、性別や年齢に関係なく、思いやりを持って接します。

活動例

- 文化祭やお楽しみ会等の交流活動
- 青年層や子育て世代等、同世代が交流できる活動
- 子どもと高齢者等、世代間の交流ができる活動
- 地域住民と福祉施設との交流活動
- 公園等の清掃活動



IV 地域のつながりと生活支援のわ

「みんなであわせになるため」に、様々な困りごとの解決を目指します。

行動指針

- 困りごとを話し合える関係づくりをすすめます。
- 暮らしの課題に関心を持ち、その解決方法について検討し、活動します。



活動例

- 相談窓口の周知、啓発活動
- 専門職との連携 (地域包括支援センター、健康推進課、しょうがい福祉課等)
- 「暮らしの支えあい検討会」の開催 (課題解決方法について検討、提案と実施)
- 高齢者・しょうがい者宅への生活支援活動 (雪かき、草刈り、買い物支援等)

II 居場所づくりのわ

誰にでも居場所がある地域を目指します。

行動指針

- お世話する人される人ではなく、みんなで居場所づくりに取り組みます。
- あらゆる世代の人がいつまでも健康な暮らしを続けられるよう、趣味活動サークル、サロン、転倒予防教室などに参加します。

活動例

- サロン等の企画運営、活動支援
- 趣味活動サークル等の活動支援
- 一人暮らし高齢者の集いの場の企画運営
- 子どもの居場所づくりへの取り組み
- 健康講座や健康促進に関するイベントの企画運営、活動支援



基本目標

V 災害支援のわ

びわ地区は河川の増水により、たびたび避難指示が出ます。すべての人が危機感を持ち、命を守るための備えができるようにします。

行動指針

- いざという時に慌てないように、日頃からの防災意識を高め、災害時を想定した体制づくりをすすめます。



活動例

- 避難訓練
- 災害マニュアルの整備
- 防災福祉マップの作成
- 防災研修の推進
- 「命のバトン」の活用 (基本目標IIIと連動)
- 備蓄の整備
- 見守り支えあい制度登録の推進

III お互いさまで見守るわ

誰もが安心して暮らせるよう、お互いさまの見守り活動をすすめます。

行動指針

- 地域住民による見守り活動への積極的な参加をすすめます。

活動例

- 高齢者友愛訪問
- 交通安全と防犯を目的とした子どもの見守り活動
- 「命のバトン」を活用した見守り活動 (基本目標Vと連動)



VI 活動を支える仕組みづくりのわ

「みんなであわせになるため」には、様々な仕組みを整えます。

行動指針

- 地域の福祉活動を向上・促進するため、各組織の基盤強化をします。
- 地域に必要な資源を検討し、取り組みをすすめます。



活動例

- 各種研修会の運営、参加
- 福祉委員会活動への支援
- 多団体による協働 (類似事業の統合、ネットワークづくり 担い手の負担を減らす取り組み等)